

2022年3月号



節分の行事をおこないました。

あい寿の丘では、赤鬼と青鬼を手作りしました。目や鼻・角の位置を、「もうちょっと目は上」「耳は下に」「怖い顔はダメ」とご利用者と話しながらかわいい鬼が出来上がりました。「上手くできたね。かわいいね。」「節分には厄年の人が厄払いのお金をまく風習があるんだよ。」などとその後節分の話に花が咲きました。



ひだまりでは、ご利用者が鬼のイラストにめがけて豆を「鬼は—外！」と大きな声で鬼を追い出し、「福は—内！」を小さな声で豆をまくふりをしました。

今年一年間を平穩無事に過ごせますようにと願いも込めました。



## みなみ苑「ぼた餅」

2月のみなみ会では、ぼた餅作りを行いました。  
炊き上がったご飯をすりこぎでつぶして、団子にして、あんこで包みます。もち米と白米を混ぜて炊くので柔らかく出来上がり、「歯が悪くても大丈夫だね」「美味しい〜」「うまいよ」と喜んでいただけました。おかわりされるご利用者もいて大好評でした。



## みなみ苑「雛飾り」

みなみ苑のお雛様は土台が木で出来ています。開所まもない時期に、ご家族の方が作ってくださったそうです。



毎年1回のことなので考えて組み合わせ、組み立てるのに頭を使います。組み立ては男性ご利用者に手伝ってもらい、今年もお雛様の飾り付けをしました。とても華やかな雰囲気になり、ひと月ほど楽しめます。



## あい寿の丘「篠島の祭」

篠島では、正月にお祭りがあります。ただ、新型コロナウイルス感染予防の為、地区のお祭りも行えない状況が続いています。そこで昔のお祭りに様子をDVDで鑑賞しました。

篠島の島民にとって、お正月と言えば1月3日・4日に行われる正月祭礼の事をさします。「18時になるとオゾンジキサマのオワタリが始まり、オワタリの様子を見ることが固く禁じられている為、島中の電気が消えて真っ暗になるんだよ。」「土地ならではの風景があるんだねえ。」とご利用者同士の会話が盛り上がっていました。



## 南知多町デイ・そよかぜデイ「鬼倒しゲーム」

南知多町デイサービス・そよかぜデイサービスで、節分にちなんで「鬼倒しゲーム」を行いました。鬼の顔が貼られたペットボトルや箱に、玉を投げて倒すゲームです。

今年も、感染対策と手のリハビリを兼ねて、ご利用者に新聞紙を丸めて玉を作っていただきました。「鬼は外、福は内！」と渾身の力を込めて玉を投げます。「なかなか倒れんね〜」今年の鬼はとても丈夫でなかなか倒れず、ご利用者は苦戦されていました。



## 南知多町デイサービス「壁面作り」

立春を過ぎ、寒い中にも春の気配が少しずつ感じられる時節となりました。

春の壁面作りに取りかかりました。春と言えば、まず思い浮かぶのは桜です。

今年の春の壁面は、「桜」をメインにしたものとなりそうです。さあ、どんな壁面が出来上がるのか楽しみです。



## ひだまり「バレンタイン」



2月のおやつはバレンタインにちなんで、チョコレートケーキを提供しました。

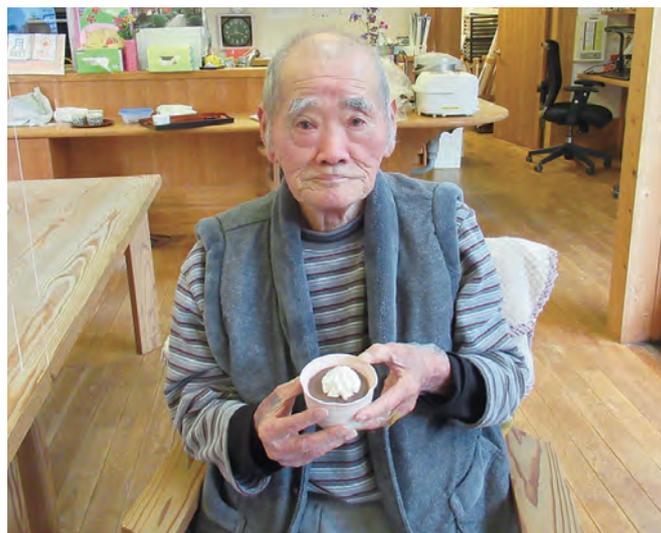
生クリームと果物のトッピングは、ご利用者の方々にも手伝って頂きました。チョコレートの甘さと、苺の甘酸っぱさが大変好評で、皆様に満足して頂けたようです。



## そよかぜデイサービス「バレンタイン」

今年のバレンタインは生クリームをトッピングしたチョコプリンを作りました。

おやつ時間にコーヒーとセットにして召し上がっていただきました。プリンなので舌触りが良く皆さんペロッと食べられていました。



## あい寿の丘「針仕事」

あい寿の丘のご利用者が針仕事をして下さいました。

ご利用者から「目が悪くなったから無理だよ」と言われましたが、体が覚えているものですね針に糸を通したものを渡せば、チクチクと上手に縫っていました。若かりし頃のお母さんが作った雑巾が完成しました。心温まるもので使うのがもったいない感じがしました。

